

内灘海岸賑わい創出事業基本構想



平成30年11月

内灘町

目 次

1. 経緯及び概況の整理	-1-
1-1 経緯と目的	-2-
1-2 検討フロー	-3-
1-3 上位計画	-4-
1-4 内灘海岸拠点の必要性	-5-
1-5 内灘海岸の現況	-7-
1-6 内灘海岸への町民意向	-13-
1-7 内灘海岸周辺の交通状況	-14-
1-8 内灘海岸の管理状況	-15-
1-9 内灘町を取り巻く観光の現況	-16-
2. 内灘海岸の課題	-19-
3. 基本構想	-23-
3-1 基本理念	-24-
3-2 基本方針	-24-
3-3 施策の検討	-25-
参考資料	-31-
上位計画	-32-

1. 経緯及び概況の課題

1. 経緯及び概況の整理

1-1 経緯と目的

我が国では、人口減少の克服と地方創生により、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指し、「東京一極集中の是正」や「若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現」、「地域の特性に即した地域課題の解決」の3つの基本的視点に沿って政策を進めてきました。また、観光振興を少子高齢化時代における「地方創生」の切り札として重要な政策の柱に位置付けています。観光振興を推進することで、交流人口の拡大による消費活動の増加、新たな雇用の創出など地域経済を活性化する効果が期待されています。

石川県においては、平成27年3月の北陸新幹線金沢開業以降、金沢市を中心に新幹線開業効果が発現しており、金沢港に寄港するクルーズ船の発着数増加などとの相乗効果によって、多くの観光客が県内を訪れている状況にあります。そのような中で、金沢市の近隣に位置する内灘町にも観光客を誘致する機運が高まっています。

内灘町は、豊かな自然環境を持ち、海水浴やマリンスポーツのために多くの人が訪れる内灘海岸をはじめ、世界の凧が一堂に会す「世界の凧の祭典」や「恋人の聖地」など豊かな観光資源を有しています。また、のと里山海道によって金沢市と能登を結ぶ交通の要衝でもあります。

本基本構想は、観光客が増えている現状をふまえて、内灘町が有する資源“内灘海岸”を活かすことで、「交流人口の拡大」や「地域経済の活性化」の実現を目指して策定するものです。



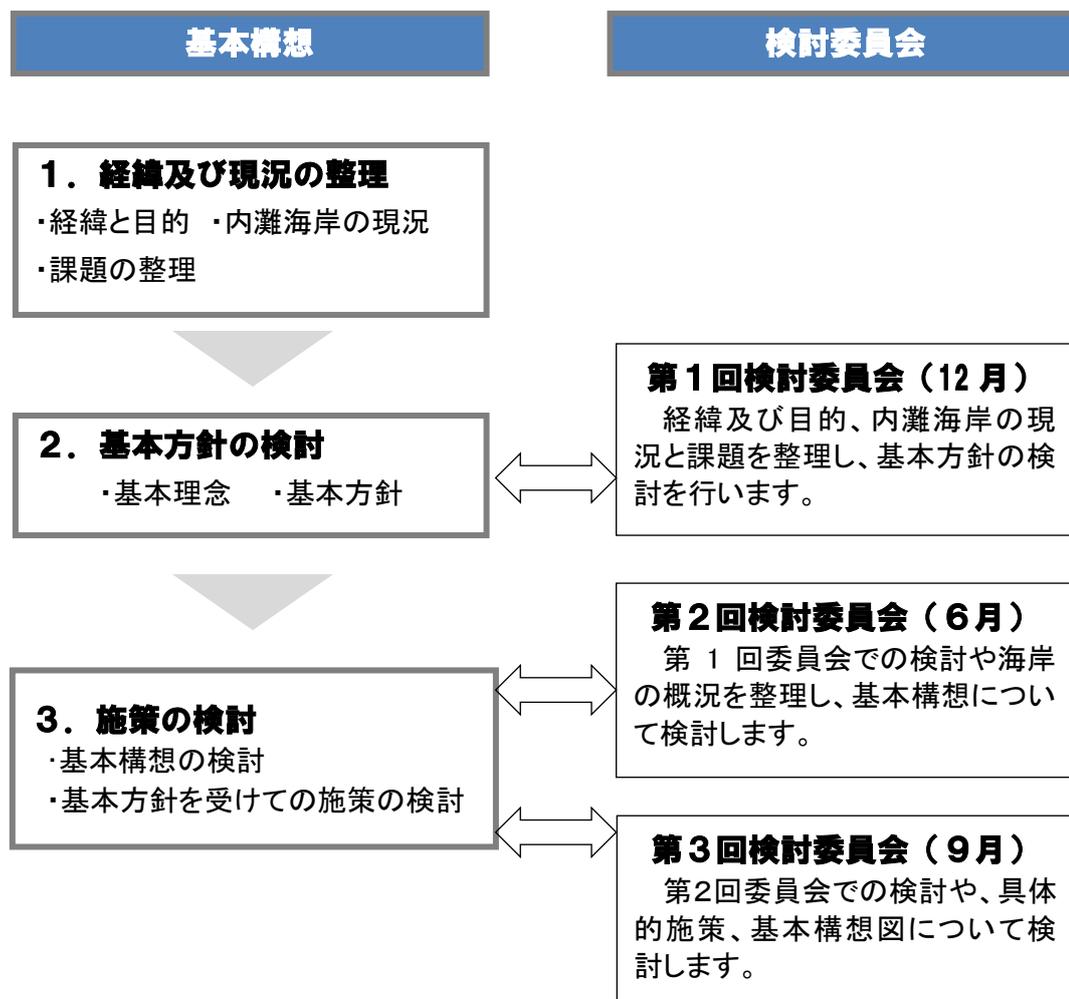
平成25年 のと里山海道無料直線化



海水浴で賑わう内灘海岸

1-2 検討フロー

本基本構想は、学識経験者、住民代表者等で構成する検討委員会を設置し、検討を進めます。



1-3 上位計画

本基本構想は、「第五次内灘町総合計画」、「内灘町まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「内灘町観光ビジョン」を上位計画とし、観光ビジョンを実現する取り組みのひとつに位置づけられます。内灘町観光ビジョンでは、観光拠点整備として5つの拠点をあげています。

第五次内灘町総合計画（H28～H37）

「ひと・まち・海が輝き 笑顔あふれる都市 うちなだ」

～地域の魅力を活かし、活力と交流が生まれるまちづくり～

地域の活力向上に向け、消費者ニーズを的確に捉えた特産品開発や地産地消の推進による農水畜産業の振興、町内への企業誘致をはじめ、町内企業の経営支援や新たな起業・創業支援による商工業の活性化、観光客の受け入れ体制や町内外の交流ネットワークの強化による観光振興に取り組みます。

内灘町 まち・ひと・しごと創生 総合戦略（H27～H31）

町が誇る日本海や内灘砂丘、サンセットブリッジ内灘、河北潟などの地域資源を活かした観光産業の育成や近隣市町などとの広域交流を促進します。

内灘町観光ビジョン（H28～H37）

海が輝き笑顔あふれる ロマンに満ちた
石川の湘南 内灘町

1. ロマンあふれる内灘町の魅力を更に高め、多くの笑顔をはぐくみます
2. 内灘町の魅力やロマンを多くの人に伝えます
3. 観光客をあたたかくもてなし迎えます

国の施策
県の施策
広域圏の計画



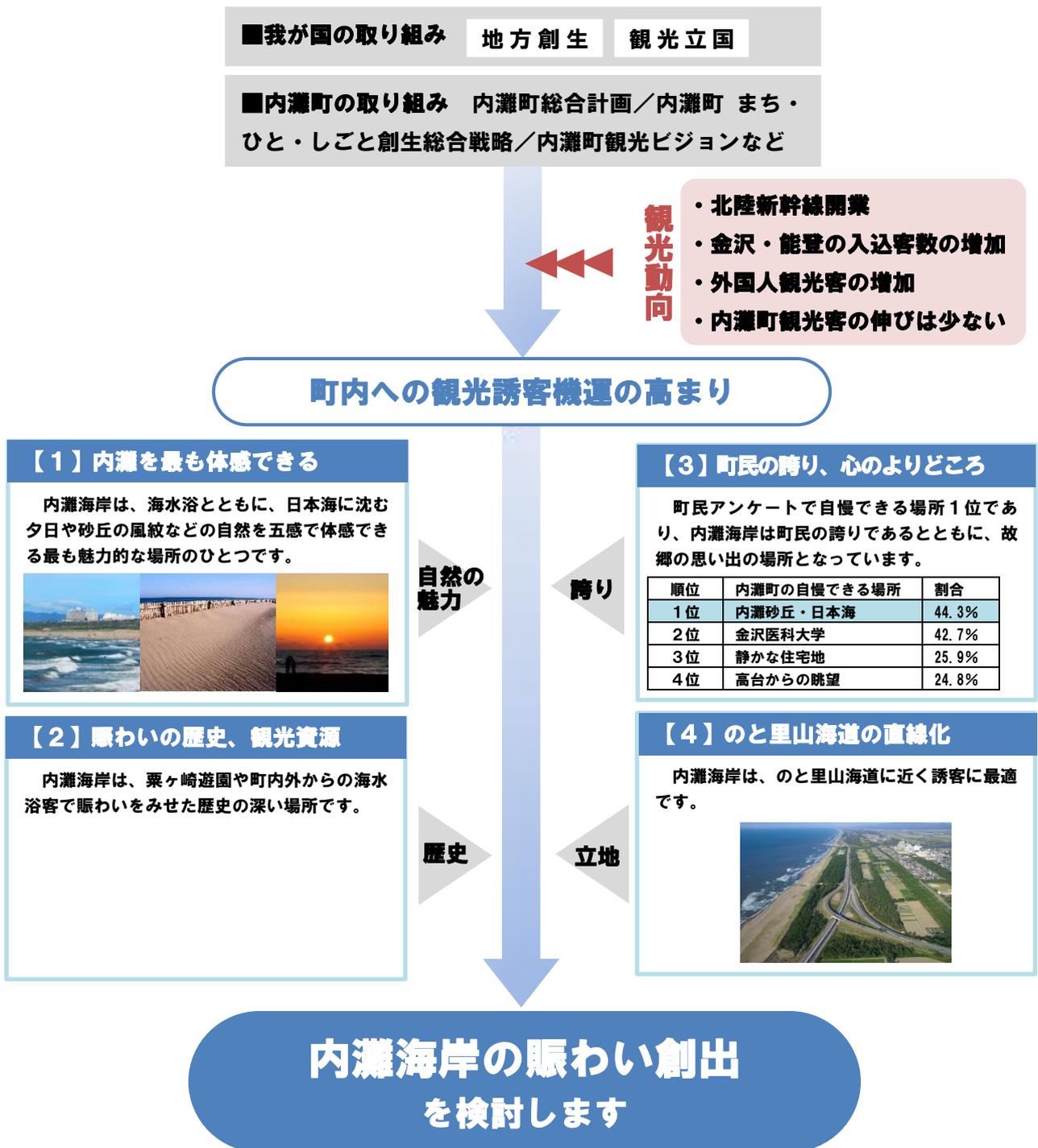
観光拠点の整備

「内灘町観光ビジョン」P. 2、P. 12 より

1-4 内灘海岸拠点の必要性

平成 27 年の北陸新幹線金沢開業を契機に金沢・能登地域の観光入込客が増加しています。町のさらなる活性化のために、金沢・能登地域からの誘客を図る魅力的で効果的な取り組みが求められています。

以下の4つの理由から、内灘観光ビジョンで挙げた5つの拠点施設から、“内灘海岸(海岸拠点)”を選定し検討します。



基本構想検討エリア



1-5 内灘海岸の現況

(1) 町の歴史

内灘町は、加賀地方最初の石器発見地として考古学上著名であり、早くから人々の生活が営まれてきました。中世においては、式内社である小濱神社(黒津船権現)が現在の権現森に鎮座し、近郷七箇村の中心的な位置を占めその結合の核となっていました。

明治以降内灘町の漁業は著しい発展を遂げ、大正14年には金沢駅から機具橋の手前(新須崎駅)まで電車が開通し、“北陸の宝塚”ともいわれた粟ヶ崎遊園がオープンし、粟ヶ崎海水浴場とともに賑わいをみせましたが、経営不振や戦争の影響で昭和16年に休業閉鎖されました。



粟ヶ崎遊園

第2次世界大戦後の昭和27年からは、政府が内灘砂丘を在日米軍の砲弾試射場として接收したことで、全国的な反基地闘争のさきがけとなる内灘闘争が起こりました。その後、昭和32年に米軍が完全撤退したことで、終止符が打たれました。

日本海に面した内灘砂丘は、北西の季節風が吹くと猛烈な勢いで砂が舞い上がり、たびたび集落が砂に飲み込まれていました。大正時代に植林が始められたアカシアが根付いたことで、昭和30年代後半から高度経済成長にかけて住宅地の開発が本格化し、県営住宅の建設や土地区画整理事業施行によって、アカシア団地や鶴ヶ丘団地が造成され、砂丘地において本格的な新しいまちづくりが行われました。平成に入ってから、白帆台ニュータウンが造成され、金沢都市圏のベットタウンとして栄えてきました。

昭和47年には金沢医科大学が開学し、また、昭和57年には、金沢と能登を結ぶ交通の要衝である内灘町を起点にして、能登有料道路(現のと里山海道)が全線開通しました。平成25年には無料化され、交通量が約2倍に増加したため4車線化の整備も行われ、能登方面への交通利便性が高まりました。



のと里山海道

内灘町は、このような歴史のもと金沢市近郊住宅都市と学園都市を2大特性とする“閑静で明るいまち”として今日に至っています。

(2) 海岸の歴史・沿革

内灘海岸が盛んに利用されるようになったのは、浅野川電鉄が開通した大正14年以降であると思われる。地元民が特に海水浴場を必要としたのではなく、金沢市民などが海水浴場に盛んに訪れるようになりました。内灘村に隣接していた粟ヶ崎海水浴場は、大正15年8月4日に、海水浴場行きの軌道自動車が粟ヶ崎遊園駅から終夜運転を行うほどに賑わいました。



粟ヶ崎海水浴場（昭和4年）

昭和4年には鉄道が延伸して粟ヶ崎海岸駅が設けられ、海水浴シーズンだけ運行されるようになりました。昭和7年には浜開きとともに金沢から浜茶屋まで直通電車が23分で走り、電車賃を3割引、遊園と海岸との連絡切符を発行（大人50銭、小人半額）

するなどして、多くの海水浴客が粟ヶ崎海水浴場を訪れました。この後、第二次世界大戦中には海水浴客が減少しましたが、戦後の経済復興とともに海水浴客は再び増加し、粟ヶ崎海水浴場には浅野川線を利用して、金沢市民などが沢山訪れるようになっていきました。

昭和40年、海水浴客の増加に応じて、浜茶屋12棟、駐車場、監視所、シャワー室などの設備を備えた内灘町営海水浴場が向粟崎に設けられ、その翌年には権現森にも海水浴場が整備されました。その結果、交通・施設・宣伝などの面で内灘海水浴場には太刀打ちできなくなったことや、金沢港開発の影響もあり、粟ヶ崎海水浴場は40年の歴史に幕を閉じることとなりました。



内灘海水浴場（昭和40年）

その後、内灘町の発展に合わせるように、自動車の普及やレジャーブームが重なり、町外からの海水浴場利用者が年々増加していくと、不法駐車や水難の増加、青少年の非行などの問題が生じるようになり、監視所・救命具の整備や、浜茶屋の営業時間の短縮、パトロールの強化などの対策がとられるようになりました。昭和46年には海水浴客を対象とした「砂の芸術祭」、「海の女王コンテスト」などを開催し、夏季には、内灘駅から海水浴場までの臨時バスが運行されるほどでした。

内灘海岸にあった海水浴場は、北から西荒屋、権現森、鶴ヶ丘（大根布）、内灘の4つで、最も規模が大きいのが内灘海水浴場で、かつては12軒の浜茶屋があり、昭和42年には協同組合も組織されました。年間20万人の海水浴客が訪れて、地引網や貸しボートなども営業していましたが、平成18年には浜茶屋が3軒のみとなっています。権現森海水浴場にも浜茶屋が1軒あり、地引網が楽しめました。



内灘海水浴場（平成28年）

平成28年度までは組合が営業していましたが、本年、平成29年には半世紀ぶりに町営海水浴場が開設され、かつてのように多くの家族連れが安全安心に楽しめるよう、健全な海水浴場となるよう取り組まれています。

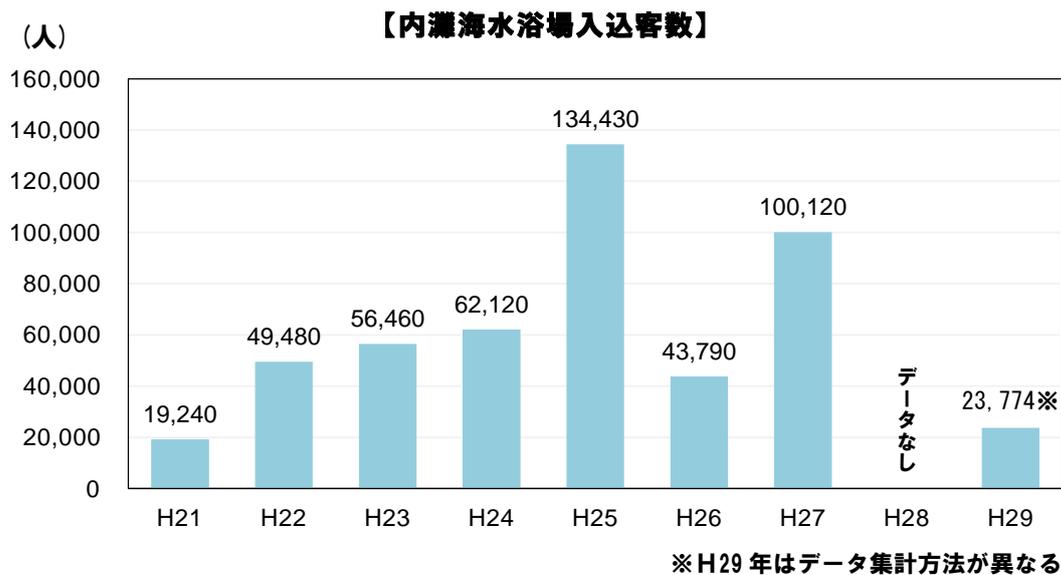
内灘海岸 主要年表

年 月	事 項
昭和 40 年 7 月	内灘町営海水浴場オープン
昭和 49 年 12 月	能登海浜道路全線（羽咋市柳田一金沢市粟ヶ崎間）開通。
平成元年 5 月	第 1 回日本海風揚げ大会開催。以後平成 4 年より「世界風の祭典」として継続
平成 5 年 3 月	内灘海水浴場に海岸公衆便所完成
平成 21 年 7 月	内灘海水浴場にて第 1 回ビーチベースボール北陸大会 I N 内灘開催
平成 25 年 3 月	能登有料道路が「のと里山海道」に名称変更、無料化
平成 29 年 7 月	半世紀ぶりに内灘町営海水浴場開設

(3) 海岸利用状況

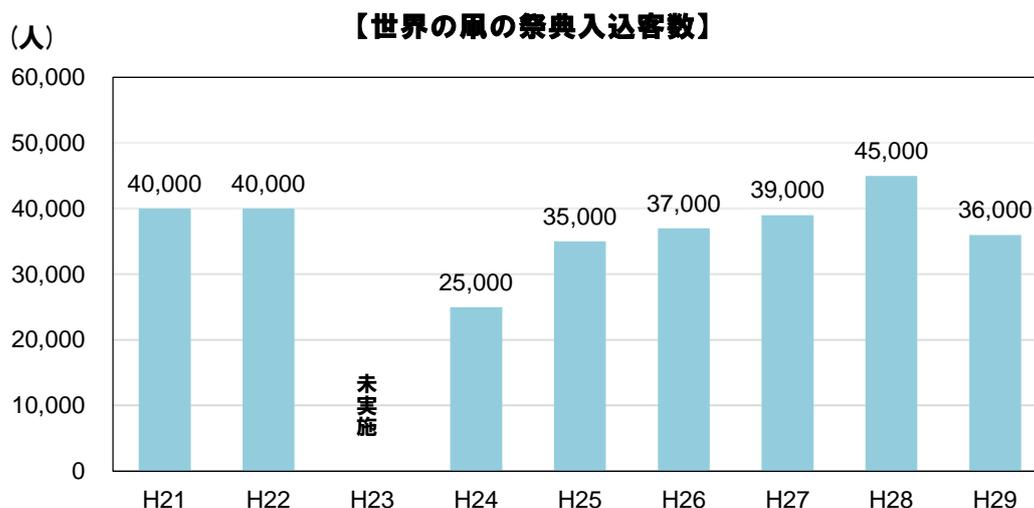
〈内灘海水浴場〉

内灘海水浴場の近年の利用状況をみると、平成 25 年度と平成 27 年度に 10 万人を超える入込客数があり賑わいをみせているものの、かつてのピーク利用者数(昭和 40 年代約 20 万人)の半分程度です。



〈イベント（世界の風の祭典）〉

イベントとしては、世界の風の祭典が平成 29 年で第 29 回を迎え、毎年 4 万人弱の集客力が大きいイベントとして定着しています。



(4) 内灘海岸の自然環境

内灘海岸は、通年においてマリンスポーツが楽しめるレジャー拠点として知られていますが、日本を代表する砂丘でもあるため、大きな砂浜と海岸の大自然を楽しむことが特徴です。

内灘海岸は、平成 18 年に人々が水に直接触れることができる個性ある水辺を認定する「快水浴場百選」に選定され、“環境への配慮”、“水質・自然環境”、“安全性”が高く評価されています。

〈内灘砂丘〉

内灘砂丘は、金沢市～内灘町～かほく市まで海沿いに細長く続く、平均標高約 20m(最高所の標高 58.51m)の横列砂丘で、西側を日本海に東側を河北潟に挟まれた状態でほぼ南北に伸びています。河北潟は、国営干拓事業により総面積の約6割が干陸され、その残存水面は金沢港に至る大野川と砂丘地中央部を横断する河北潟放水路によって日本海に通じています。近年、砂丘復元のため竹垣づくりが行われ、美しい風紋が刻まれています。

内灘海岸「快水浴場百選」(環境庁) 選定の評価

項目	評価事項	評価 (5つ星が最高)
美しい水辺	水質・自然環境	★★★★
清らかな水辺	環境への配慮・取り組み	★★★★★
安らげる水辺	安全性(津波対策を含む)	★★★★
優しい水辺	利便性(公共交通機関)	★★
豊かな水辺	水と人とのかかわり(環境教育、エコツーリズム)	★



美しい風紋



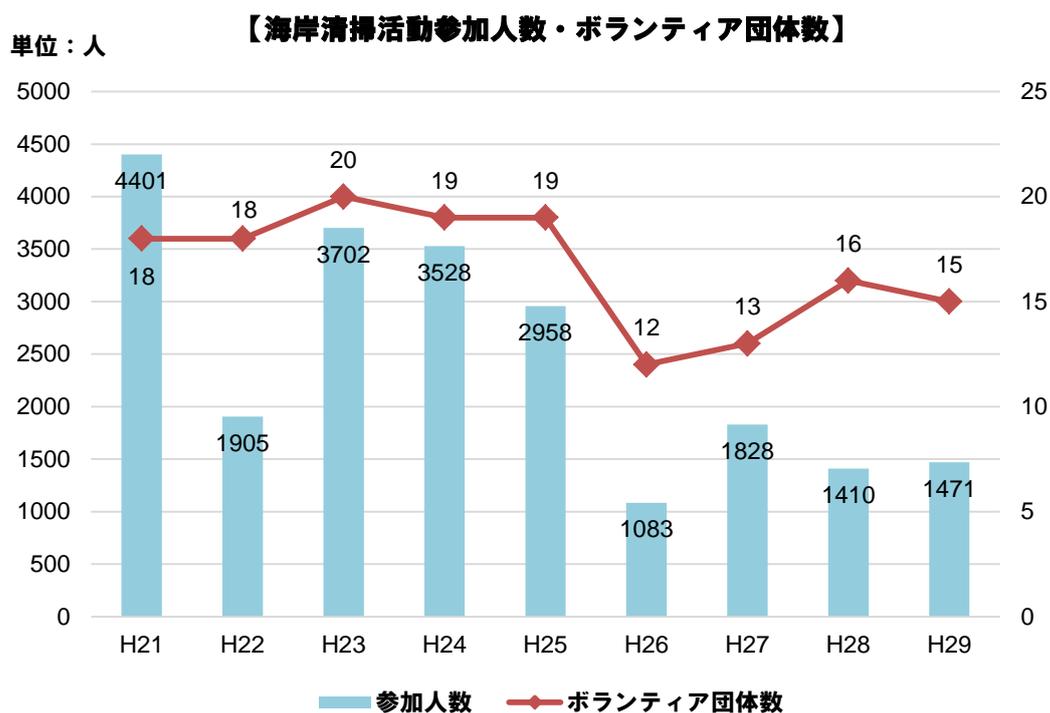
大自然を楽しむ大きな砂浜



内灘海岸の夕日

〈海岸美化活動〉

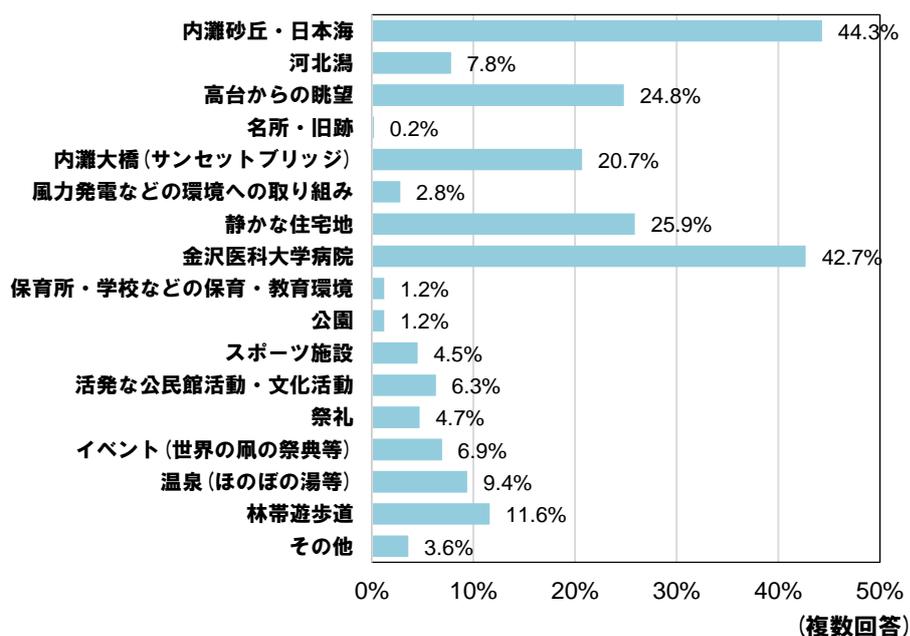
美しい内灘海岸を維持し自然環境を保全する意識から、昭和 50 年代より町民一斉の海岸美化清掃キャンペーン等の清掃活動が行われています。近年では、参加人数に幅はあるものの毎年 1,500～4,000 人が参加しており、平成 29 年は町内 15 のボランティアグループ、1,471 人が海岸美化活動に意欲的に取り組んでいます。



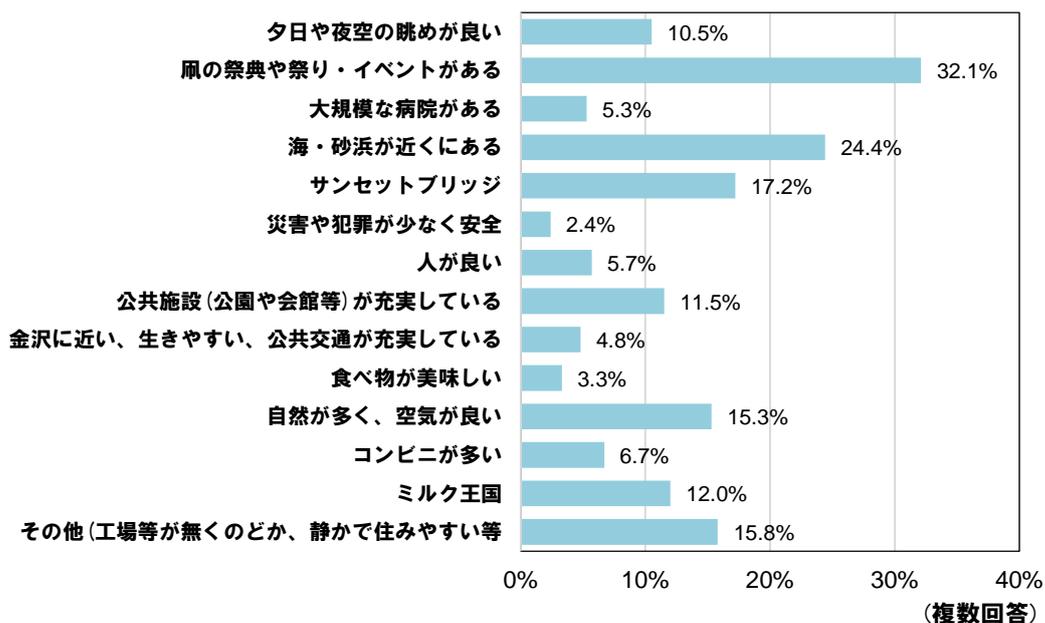
1-6 内灘海岸への町民意向

町民に対して内灘町の自慢できる所についてアンケートを実施したところ、「内灘砂丘・日本海」が約4割と最も多い回答を得ました。また、中学生の回答では「風の祭典や祭り・イベントがある」が約3割と最も多く、次いで「海・砂浜が近くにある」、「サンセットブリッジ」を内灘町の自慢できる所と回答しています。

【内灘町の自慢できる所（町民）】



【内灘町の自慢できる所（中学生）】



「内灘町観光ビジョン」P.7より

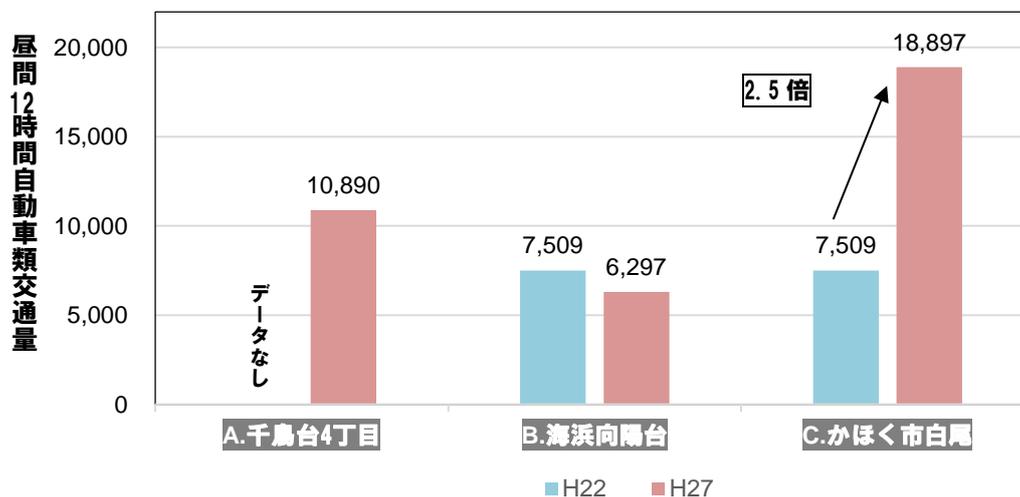
1-7 内灘海岸周辺の交通状況

のと里山海道の交通量は、有料道路時代と無料化以降で比較すると倍増しています。また、大根布 JCT から金沢市粟ヶ崎までが直線化されてからは、海沿いの自動車交通量が増加しています。



交通量調査観測位置図

【のと里山海道交通量】



道路交通センサスより

1-8 内灘海岸の管理状況

内灘海岸は国有地であり、海岸法の規定に基づいた海岸保全区域で、管理は石川県が行っています。また、海水浴シーズンには、石川県の「海水浴場に関する条例」に基づいて海水浴場管理者が安全管理などを行っています。

海岸に関わる関連法令

関連法など	内容
海岸法	延長 9,651m（かほく市沿岸も含む）の海岸が海岸保全区域に指定されています。管理は石川県で行っています。 陸域幅：65m～129m 水域幅：50m 海岸保全区域：陸域側境界線と水域側境界線とにはさまれた区域 総幅 120m～184m
海水浴場に関する条例	海水浴場、休憩所の設置について公衆衛生及び公衆の危険防止上、必要な措置を定めています。

海岸法…海岸保全区域とは、津波、高潮、海水または地盤の変動等、厳しい自然条件にさらされている海岸において、海水又は地盤の変動による被害から海岸を防護し、国土の保全を図るために必要と認められ、指定を受けた海岸の一定地域をさします。海岸保全区域では、土地の占用、工作物の設置などが制限されます。

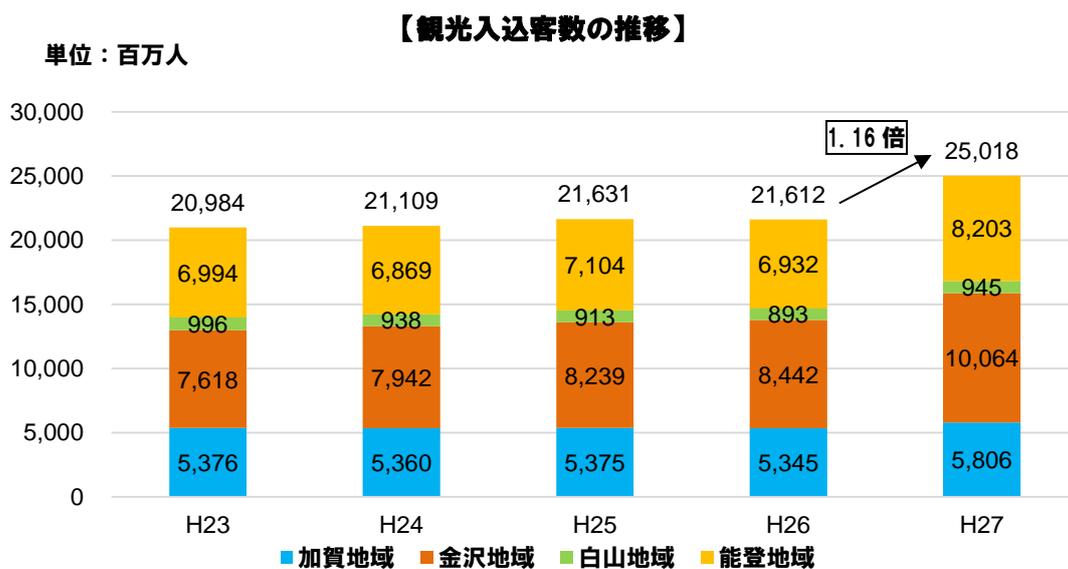
都市計画法…当該区域は都市計画区域における市街化調整区域となっており、建物の建築等開発が制限されます。



1-9 内灘町を取り巻く観光の現況

(1) 観光入込客数の推移

石川県を訪れる観光入込客数は、平成27年に北陸新幹線金沢開業や、NHK連続テレビ小説「まれ」の影響により、首都圏や新幹線沿線地域からの観光客を中心に大きく増加しています。特に、金沢地域と能登地域の伸び率が高いことが分かります。



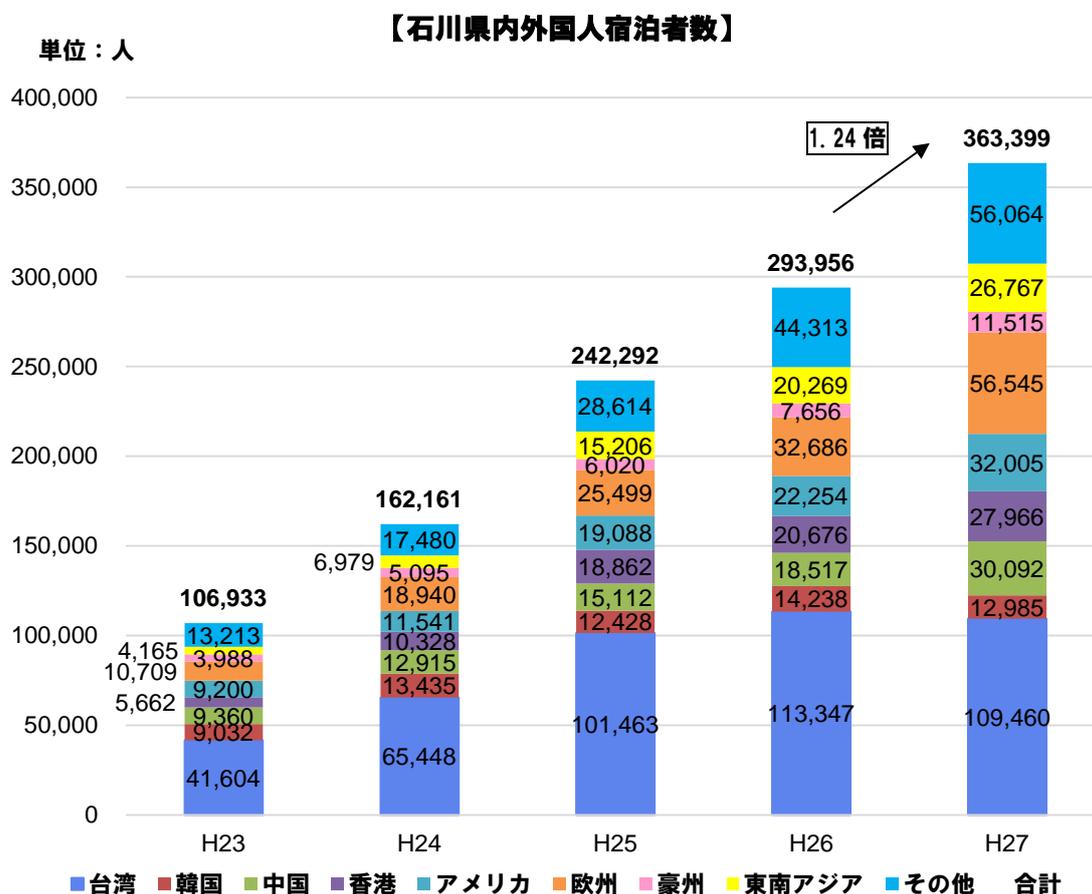
(2) 観光消費額の推移

観光消費額の推移を見ると、平成27年の北陸新幹線金沢開業の影響の大きさが分かります。



(3) 外国人宿泊者数の推移

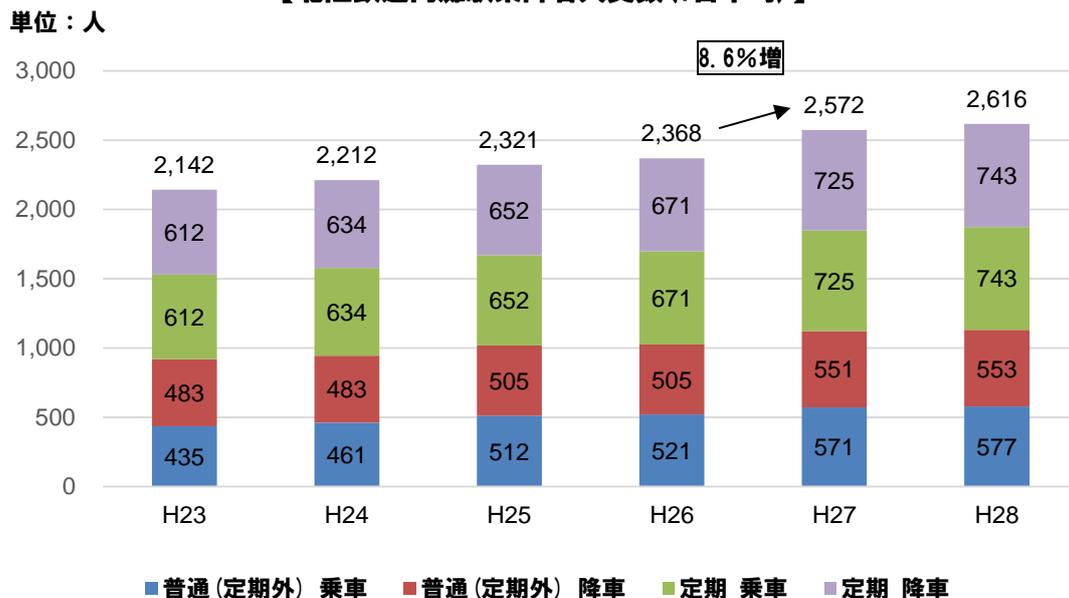
石川県の外国人宿泊者数の推移を見ると、北陸新幹線金沢開業前から年々増加しており、台湾からの観光客の比率が最も高くなっています。また北陸新幹線以降は、欧州からの観光客の増加も目立っています。



(4) 内灘駅の利用状況

金沢駅と内灘駅を結ぶ北陸鉄道浅野川線の乗降者数は、この数年間増加傾向にあります。北陸新幹線開業前後は最も多く8.6%増加していますが、金沢駅の乗車人数(11.1%)や県観光客入込客数(16%)の伸びと比べ低い状況です。

【北陸鉄道内灘駅乗降者人員数(1日平均)】



【JR金沢駅乗車人員(年間)】



2. 内灘海岸の課題

2. 内灘海岸の課題

①来街者の受入れについて

(1) 海岸へのアクセス

内灘の玄関口である内灘駅からの海岸へのアクセスについて、現状では徒歩で訪れる方が多い。他の交通手段等、選択肢を増やし利便性を向上させることが求められる。

(2) 国内外の観光客への案内・魅力創出

近年、石川県を訪れる国内外の観光客が増加している。金沢駅から内灘駅まで浅野川線を利用すれば約17分で到着することができるが、誘客のための案内、観光情報や町内の案内サインなどが不足している。また、多言語化が行われておらず、誘客促進策や受け入れ体制の在り方の検討が求められる。

美しい海岸の自然環境を守るため、清掃活動や風紋再生のための竹垣づくりが行われているが、活動を維持継続していくためには体制づくりが必要である。また、内灘海岸の歴史や文学、風紋などその魅力を伝えるコンテンツや情報発信も不足しており、誘客のための情報発信が求められる。

②町民利用について

(3) 海岸の環境保全、安全・安心な環境づくり

近年、海岸利用者が出すゴミの問題や四輪駆動車の乗り入れによる環境破壊が問題となっている。また、海水浴シーズンでは毎年のように水難事故や、騒音・けんか等の治安問題が発生している。海岸の賑わい創出に向けては、海岸の環境保全や安全・安心の取り組みが求められる。

(4) ふるさとの安らぎを与える内灘海岸

町民にとって内灘海岸は、浅野川電鉄が開通した大正時代から利用され、昭和40年代には年間20万人が訪れるなど、内灘町の賑わいの中心となってきた歴史がある。また、町民の4割が自慢できる所として「内灘砂丘・日本海」をあげており、町民の心の拠り所となっている。町民が年間を通じて内灘海岸を訪れ、楽しめる工夫が求められる。

③新たな魅力創出について

(5) 海岸の魅力の情報発信

内灘海岸には、夏だけではなく、冬の荒れた日本海などの四季折々の海の魅力がある。海に沈む夕日は観光客にとって人気のスポットであるだけでなく、内灘町出身の人にとって故郷の思い出の場所である。町内外の多くの方に興味を持ってもらうような内灘海岸の魅力やイベント開催などの情報発信が求められる。

(6) 観光・イベントによる内灘海岸活性化

北陸新幹線金沢開業後、金沢を中心に県内の観光ニーズが高まっており、内灘海岸へ夕日を楽しみに来る観光客が増加している。金沢の近隣に位置する内灘海岸を訪れる観光客が海岸で休憩したり、いろいろな体験を通じて楽しむことができる工夫が求められる。

海水浴シーズンや世界の凧の祭典などのイベント時には多くの人が集まるが、それ以外の時期の集客は少ない。年間を通じたイベント、夏以外でも多様なアウトドア活動が楽しめる工夫が求められる。

(7) 回遊性の向上

内灘海岸へつながる道は内灘駅からつながる通称「鉄板道路」のほか、のと里山海道の始点・終点(千鳥台交差点)からの道が整備されている。しかし、海岸周辺での人・車の動線が十分ではないことから、内灘海岸での回遊性を向上し、町全体の賑わい創出につなげることが求められる。

※内灘海岸活用に向けて

内灘海岸は国有地であり、海岸法の規定に基づく海岸保全区域及び都市計画法に基づく市街化調整区域となっているため、利活用(管理)にあたって、国・県と協議の上、法令上の課題を整理する必要がある。

●背景と目的

社会的背景、観光の現況

- ・地方創生、観光立国の推進
- ・北陸新幹線開業
- ・観光入込客数の増加（1.16倍）
- ・外国人観光客の増加（1.24倍）
- ・内灘駅利用者の増加少ない（1.08倍）

上位計画

●第五次内灘町総合計画（H28～H37）
「ひと・まち・海が輝き 笑顔あふれる都市 うちなだ」
～地域の魅力を活かし、活力と交流が生まれるまちづくり～

内灘海岸は、町を代表する地域資源であり十分に活用できるよう、観光情報の案内・PR強化、各種団体連携、「おもてなし」の心を大切に活動を進める。

⇒内灘大橋・内灘海岸等の観光資源（施設）の整備（重点施策）

⇒砂丘や海を活用したイベント等の開催・運営支援

●内灘町 まち・ひと・しごと創生 総合戦略（H27～H31）

内灘海岸は、観光振興等による交流人口の拡大施策において観光客等の受入れの推進する具体的な施策に位置付けられる。

⇒内灘大橋ライトアップ・内灘海岸等の観光資源（施設）の整備・維持管理

●内灘町観光ビジョン

海が輝き笑顔あふれるロマンに満ちた石川の湘南 内灘町

内灘海岸は、内灘町への来訪者を増加させるため5つの観光拠点のうちの1つに位置付けられる。

⇒観光拠点の整備（海岸拠点）

内灘海岸の活性化・賑わい創出に向けて

●現況

内灘海岸周辺の交通

- 観光客数の増加
 - ・石川県入込客数…H26→27年度：1.16倍
 - ・内灘駅利用状況…H26→27年度：8.6%増
- のと里山海道の直線化
 - ・自動車交通量増加（2.5倍）
 - ・のと里山海道直線化により海岸沿い自動車交通量が増加（1日1万台）

内灘海岸への町民意向

- 町民の誇り、心のよりどころ
 - ・内灘海岸は、内灘町の自慢できる場所1位（町民の4割）
 - ・町民の誇りであり、思い出の場所
 - ・半世紀ぶりに町営海水浴場開設

内灘海岸の魅力

- 内灘を最も体感できる
 - ・美しく豊かな自然環境
 - ・日本海に沈む夕日、砂丘の風紋
 - ・世界の凧の祭典が定着
 - ・町民一斉の美化清掃活動継続
- 賑わいの歴史、観光資源
 - ・粟ヶ崎遊園や海水浴客で賑わいを見せ、米軍砲弾試射場跡があるなど歴史の深い場所

●課題

来街者の受入れについて

- (1) 海岸へのアクセス
- (2) 国内外の観光客への案内・魅力創出

町民利用について

- (3) 海岸の環境保全、安全・安心な環境づくり
- (4) ふるさとの安らぎを与える内灘海岸

新たな魅力創出について

- (5) 海岸の魅力の情報発信
- (6) 観光・イベントによる内灘海岸活性化
- (7) 回遊性の向上

●基本理念・基本方針

訪れる人々をやさしく迎えます

- (1) 内灘海岸へのアクセス性向上
- (2) 国内外の観光客、海水浴客等のための利便性向上・魅力創出

住む人々の心を満たします

- (3) 内灘海岸の環境保全や安全・安心への取り組み
- (4) ふるさとの安らぎを与える内灘海岸の心の拠り所の整備

さらなる魅力を高めます

- (5) 情報発信メディアの整備
- (6) 観光・イベント・食による内灘海岸活性化
- (7) 回遊性の向上

基本理念

人がふれあい 潮風と遊ぶ サンセットビーチ うちなだ

交流人口の拡大・地域経済の活性化

3. 基本構想

3. 基本構想

3-1 基本理念

内灘町の顔であり、多くの町民にとって町の自慢できる場所である内灘砂丘・内灘海岸を、多くの人が集まり賑わい、活気に満ちた場とするために、次の事項を基本理念として掲げます。

人がふれあい 潮風と遊ぶ サンセットビーチ うちなだ

3-2 基本方針

●訪れる人々をやさしく迎えます

内灘を訪れる人を迎える内灘駅。内灘海岸へのアクセスをスムーズにすることで、より多くの人に内灘海岸まで足を運んでもらえるようします。また、訪れる観光客に対する案内をわかり易くし、美しい海岸の自然環境を守る取り組みを強化するなど町を訪れる人をやさしく迎える場を創出します。



●住む人々の心を満たします

多くの町民にとってふるさとでの安らぎの場(心の拠り所)となっている内灘海岸。ここを内灘の顔にふさわしい活気に満ちた場とするためには、観光客だけでなく町民にとっても、ゆっくりと時間を過ごすことができる場であることも重要です。また、環境保全や安全・安心への取り組みも強化します。



●さらなる魅力を高めます

海水浴客やマリンスポーツ客で賑わうレジャースポットとしての魅力。日本海に沈む夕日や、砂丘の風紋などの自然環境の魅力。粟ヶ崎遊園など歴史の魅力。内灘海岸に内灘の魅力が集積する場の創出を検討します。

海水浴やイベント開催など、快適に海岸を利用できるよう利便性を高めるための検討を行います。



3-3 施策の検討

基本方針に基づき実施する施策を検討します。

訪れる人々をやさしく迎えます

(1) 内灘海岸へのアクセス性向上

金沢駅から内灘海岸までのアクセス性を高めるため、案内をわかりやすいように充実させます。内灘駅からの内灘海岸まで徒歩(15分)以外の交通手段として、コミュニティバスやレンタサイクルなど海岸までのアクセスの選択肢を増やし、利便性を向上します。また、車で、のと里山海道から海岸までのアクセスしやすい環境を整備することで、多くの観光客に足を運んでもらえるよう利便性の向上を図ります。

(2) 国内外の観光客、海水浴客等のための利便性向上・魅力創出

北陸新幹線の開業以降、金沢を訪れる観光客は年々増加しています。隣接する内灘町にも呼び込むため、観光客に対するもてなし向上にむけた、観光案内などの情報の充実、多言語化を図るなど、利便性を高めます。また海岸の美しい自然環境、風紋を保護するための体制づくりを検討します。

海水浴シーズンや世界の凧の祭典等のイベント時には多くの方が内灘海岸を訪れます。また、年間を通じてサーフィンなどのマリンスポーツやモーターパラグライダー、サイクリング、乗馬など幅広いアウトドア活動が楽しまれており、シャワー室やトイレ、休憩スペースの整備など、利便性を高めることも検討します。

住む人々の心を満たします

(3) 内灘海岸の環境保全や安全・安心への取り組み

海岸の賑わい創出の実現に向けて、海岸の環境保全や安全・安心の取り組みを行います。
美化活動を継続して行い、シロチドリやハマナス・イソスミレなど希少動植物の生態を守ることで海岸の自然環境を良好に保全します。

(4) ふるさとの安らぎを与える内灘海岸の心の拠り所の整備

内灘海岸は内灘町民にとって自慢であり、心の拠り所となっている場所でもあります。町民の安らぎや癒しのためにも、遊歩道や休憩スペースなどの環境整備をすることで、日常的に足を運び、海岸を眺めながら寛ぎ、ゆっくりと休息を楽しんでもらえる海岸にします。

さらなる魅力を高めます

(5) 情報発信メディアの整備

近年、フェイスブックやインスタグラム、ツイッターなどのSNSを通じて、観光情報を収集し、旅行する人が増えています。内灘の魅力を広く発信し、訪れてみたいと思えるよう、情報発信メディアの整備を行います。

無料公衆無線 LAN(Wi-Fi)を整備し、WEBサイトやブログ・SNS等を効果的に活用し、内灘海岸情報を毎日発信したり、海岸周辺の名物やフォトスポットを整備して発信したりするなど、内灘の魅力発信につなげます。

(6) 観光・イベント・食による内灘海岸活性化

内灘町の自慢である海岸の景観を間近に眺めることができるロケーションを活かして、日本海に沈む夕日を堪能してもらう、参加型イベントを継続的に開催するなど、内灘の魅力を余すところなく伝えます。また、海岸周辺の自然や歴史文化とともに、日本海の幸など地場食材を用いた「食」を体験してもらうことで、幅広い観光客の誘客を促進します。

(7) 回遊性の向上

鉄板道路、のと里山海道から海岸周辺における歩行者や自転車、車の動線について検討し、回遊性を高めることで町全体の賑わい創出を図ります。

具体的施策の検討

基本方針	項目	内容	検討事項 (賑わいを創出する環境の整備)	事業スケジュール			上位計画との関連
				短期	中期	長期	
訪れる人々をやさしく迎えます	(1) 内灘海岸へのアクセス性向上	金沢駅からの案内強化。 内灘駅から徒歩以外の交通手段等、選択肢を増やし利便性を向上。 のと里山海道からのアクセス性の向上。	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢駅等での誘導サインの設置 ・コミュニティバスの利便性向上 ・レンタサイクルの導入 ・海岸までの歩道や自転車走行帯の整備 ・里山海道から内灘海岸への誘導サインの設置 など 				<p>第5次内灘町総合計画 第4章.地域の魅力を生かし、活力と交流が生まれるまちづくり</p> <p>1 節.産業の振興 -3.観光産業</p> <p>基本方針:「魅力ある観光資源の創出、活用」 砂丘や海を活用したイベント等の開催・運営支援 「観光関連施設の充実」 内灘海岸等の観光資源(施設)の整備</p> <p>内灘町観光ビジョン 第3章.観光ビジョンと基本方針</p> <p>1.観光ビジョン 内灘町が誇る日本海・内灘海岸は、多くの海水浴やマリンスポーツ客で賑わう内灘の顔であり、日本海に沈む美しい夕日や、砂丘の風紋、海岸を活用したイベントなど魅力あふれる「海」で訪れる人を楽しませます。</p> <p>2.観光ビジョン実現のための基本方針 観光拠点の整備を行うなど内灘町の魅力をさらに高めます。</p> <p>○観光拠点の整備ー内灘海岸拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内灘海岸賑わい創出道路整備 ・駐車場整備 ・物産店整備 ・海を生かしたイベントの継続、創出 ・海岸の美化 ・風紋づくり ・安全な海岸利用の推進 ・希少な動植物の保護の促進
	(2) 国内外の観光客、海水浴客等のための利便性向上・魅力創出	観光客に対するもてなし向上。海水浴、マリンスポーツを楽しむ人たちの利便性向上。 美しい自然環境の保護。	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内・誘導サイン等の情報の充実、観光客向けの拠点となる案内所の整備、インバウンド対応(多言語化) ・シャワー、トイレ、駐車場の充実 ・清掃活動や風紋保護のための体制づくり 				
住む人々の心を満たします	(3) 内灘海岸の環境保全や安全・安心への取り組み	海岸の環境保全、気持ちよく利用でき、事故の無い安全安心な海岸づくり。	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーアップ啓発 ・自然保護エリアの整備 				
	(4) ふるさとの安らぎを与える内灘海岸の心の拠り所の整備	町民の心の拠り所となる海岸の整備。 町民が年間を通じて海岸を訪れ、寛ぎ楽しめる工夫。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に足を運んでもらえる遊歩道や休憩スペース、子どもが安心して遊べる環境づくり など 				
さらなる魅力を高めます	(5) 情報発信メディアの発信	SNS 等を通じて観光情報を収集する観光客向けに海岸の魅力発信を強化。	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸情報の発信 (WEB サイトの充実、SNS 公式アカウント運営、SNS 大賞実施) ・Wi-Fi 環境の整備 など 				
	(6) 観光・イベント・食による内灘海岸活性化	海岸の景観を間近に眺めることができるロケーションを活かした観光の拠点とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客向け体験型コンテンツの提供 ・参加型イベントの継続的な実施、年間を通じたイベントの実施 ・海岸の魅力を活かした賑わい創出拠点の整備 (地引網やBBQができる設備、地元の食を楽しむレストラン・カフェ、直売所、自然・文化・歴史等紹介コーナーの設置) ・海岸と一体となった商業施設の付加価値向上 など 				
	(7) 回遊性の向上	町全体の賑わい創出につなげるため、回遊性を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・回遊性を高める散策ロードマップ、サインの作成 ・海岸周辺における歩行者・自転車・車の動線確保 など 				

内灘海岸賑わい創出事業 基本構想図

基本理念 ~ 人がふれあい 潮風と遊ぶ サンセットビーチ うちなだ
 <基本方針>

さらなる魅力を高めます

訪れる人々をやさしく迎えます

住む人々の心を満たします

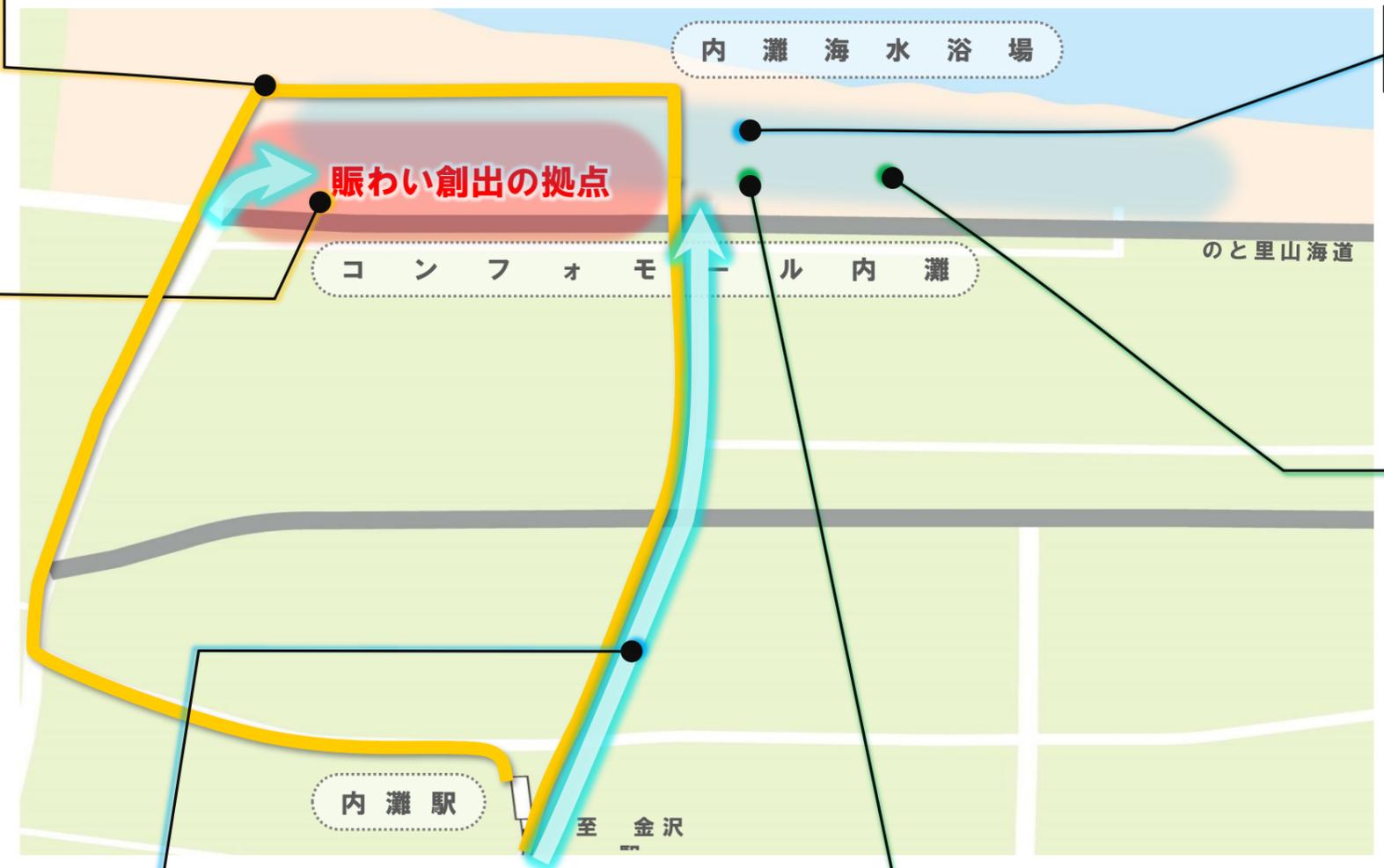
(7) 回遊性の向上

- ・海岸周辺における車、歩行者の動線確保
- ・回遊性を高める散策ロードマップ、サインの作成



(6) 観光・イベント・食による内灘海岸活性化

- ・観光客向け体験型コンテンツの提供
- ・参加型イベントの継続的な実施
- ・年間を通じたイベントの実施
- ・海岸の魅力を活かした賑わい創出拠点の整備
- ・海岸と一体となった商業施設の付加価値向上

(2) 国内外の観光客、海水浴客のための利便性向上・魅力創出

- ・観光案内・誘導サイン等の情報の充実
- ・観光客向けの拠点となる案内所の整備
- ・インバウンド対応
- ・シャワー、トイレ、駐車場の充実
- ・清掃活動や風紋保護のための体制づくり



(3) 内灘海岸の環境保全や安全・安心への取り組み

- ・マナーアップ啓発
- ・自然保護エリアの整備



(1) 内灘海岸へのアクセス性向上

- ・金沢駅等での誘導サインの設置
- ・コミュニティバスの利便性向上
- ・レンタサイクルの導入
- ・海岸までの歩道や自転車走行帯の整備
- ・里山海道から内灘海岸への誘導サインの設置



(4) ふるさとの安らぎを与える内灘海岸の心の拠り所の整備

- ・日常的に足を運んでもらえる、遊歩道や休憩スペースの整備



(5) 情報発信メディアの整備

- ・海岸情報の発信
- ・Wi-Fi環境の整備



事業の実現化に向けて

短期目標 (~3年)	海岸を訪れる人を増やし交流人口の拡大を目指します。
情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> 案内等の多言語表示などインバウンド対応を強化します。 SNS等を活用した海岸情報の発信を強化します。 訪れる人の利便性を高めるため Wi-Fi 環境を整備します。
誘導サインの設置	<ul style="list-style-type: none"> 金沢駅等で海岸への誘導サインを設置します。 のと里山海道から海岸への誘導サインを設置します。 海岸における観光案内板を設置します。
アクセス性の向上	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの利便性を向上します。 レンタサイクルを活用し、海岸へのアクセス性を向上します。 海岸までの道路の歩道、自転車走行帯を整備します。

中期目標 (4~5年)	海岸を訪れる人の満足度を高めます
イベント等による内灘海岸の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 体験型コンテンツや地場食材を味わえる場を提供します。 参加型イベントを継続的に実施し、年間を通じて楽しめるようにします。 海岸清掃活動や風紋保護活動を継続して行います。
環境保護の推進	<ul style="list-style-type: none"> 海岸利用におけるマナーアップの啓発を強化します。 自然保護エリアの整備を行います。

長期目標 (6年~)	何度も訪れたいくなる拠点の整備を目指します
回遊性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 海岸周辺における歩行者や自転車、車の動線を確保し、回遊性を向上します。 回遊性を高めるために散策ロードマップ作成し、誘導サインを設置します。
賑わい創出拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> 観光客向けの拠点となる案内所を整備します。 駐車場、トイレ、シャワー設備の充実を図ります。 遊歩道、休憩スペース、子どもが遊べる環境を整備します。 地引網や BBQ 設備、レストラン・カフェ・直売所、自然・文化・歴史等紹介コーナーなど、海岸の魅力を活かした賑わい創出拠点を整備します。 海岸と一体となった商業施設の付加価値を向上させます。

參考資料

参考資料 上位計画

(1) 第五次内灘町総合計画

同計画の「第4章 地域の魅力を活かし、活力と交流が生まれるまちづくり」の「第1節 産業の振興」、「3.観光産業」の項では、内灘町の観光の現状として、内灘には多様なマリンスポーツの拠点となっている内灘海岸・砂丘のほか、世界の凧が一堂に会す「世界の凧の祭典」など、個性豊かな観光資源があることを挙げています。

また、今後の課題としては、内灘海岸や内灘砂丘をはじめとした観光資源を十分に活用できるよう、観光情報の案内・PR強化に努めることや、各種団体と連携を図り、町を訪れる方々に満足してもらえるよう「おもてなしの心」を大切にした活動を進めていくことを挙げています。

第五次内灘町総合計画 4章抜粋（その1）

基本計画

第4章 地域の魅力を活かし、活力と交流が生まれるまちづくり

4-1-3 観光産業

現状と課題

内灘町には、多様なマリンスポーツの拠点となっている内灘海岸・砂丘のほか、粟ヶ崎遊園や内灘闘争等の本町の歴史・民俗を知ることができる歴史民俗資料館「風と砂の館」、世界の凧が一堂に会す「世界の凧の祭典」など、個性豊かな観光資源があります。

特に「内灘砂丘・日本海」は、町民アンケートでも“町の自慢”として最も多く挙げられており、町を代表する地域資源となっています。

また、平成21年4月には、内灘海岸とサンセットブリッジ内灘周辺一帯が、『LOVE & BEACH/サンセットブリッジ内灘』として恋人の聖地選ばれ、人気のドライブスポットとなっています。

今後は、内灘海岸や内灘砂丘をはじめとした観光資源を十分に活用できるよう、観光情報の案内・PR強化に努めるとともに、各種団体と連携を図り、町を訪れる方々に満足いただけるよう「おもてなしの心」を大切にした活動を進めていく必要があります。



恋人の聖地「ダブルハート（オブジェ）」

町民アンケート

項目	満足度（基準 0.00）	重要度（基準 1.12）
観光客を受け入れる施設や 情報発信に関する取組	-0.36	0.72

基本方針

- 地域の特色を活かした魅力ある観光資源の創出と活用に取り組むほか、観光情報や観光関連施設の充実を図り、来訪者や地域住民が楽しむことができる環境づくりに努めます。
- 観光ボランティアガイド「風案内はまなすさん」をはじめとした観光関連組織の育成に努めるほか、各種団体との連携を強化し、来訪者の受け入れ体制の強化を図ります。

具体的な施策については「魅力ある観光資源の創出、活用」、「観光情報の充実」、「観光関連施設の充実」、「受け入れ体制の整備」の4つの分類のもと検討していますが、中でも「観光関連施設の充実」の施策内容である「内灘大橋・内灘海岸等の観光資源(施設)の整備」は重点施策・事業となっており、内灘町の観光を強化する上でも戦略的に重要な施策として捉えています。

「魅力ある観光資源の創出、活用」の施策内容では「砂丘や海を活用したイベント等の開催・運営支援」をあげています。

第五次内灘町総合計画 4章抜粋（その2）

基本計画

第4章 地域の魅力を活かし、活力と交流が生まれるまちづくり

4-1-3 観光産業

施策内容

施策分類	施策内容	計画期間	
		前期	後期
魅力ある観光資源の創出、活用	地域の特色を生かした観光資源の創出	○	○
	砂丘や海を活用したイベント等の開催・運営支援	◎	○
	恋人の聖地事業の運営支援	◎	○
	町内事業者の特産品等の活用	◎	○
観光情報の充実	★観光PR活動の実施	◎	○
	観光物産の提供	○	○
観光関連施設の充実	★内灘大橋・内灘海岸等の観光資源(施設)の整備	◎	○
	★宿泊施設の充実	◎	○
	★駐車場、トイレ、観光案内板等の整備	◎	○
受け入れ体制の整備	★町観光協会との連携強化	○	○
	観光関連組織の育成支援	◎	○
	広域観光ネットワークの強化	○	○

※施策内容「★」は重点施策・事業、計画期間「◎」は総合戦略施策・事業を示しています

(2) 内灘町観光ビジョン

同ビジョンの「第3章 観光ビジョンと基本方針」では、「海が輝き笑顔あふれるロマンに満ちた石川の湘南 内灘町」をコンセプトに、内灘町と同じく豊かな海岸を魅力としている神奈川県の湘南エリアをモデルにして、全国的な知名度の向上や交流人口の拡大、町の活性化を目指します。

内灘町観光ビジョン 3章抜粋（その1）

第3章 観光ビジョンと基本方針

1. 観光ビジョン

海が輝き笑顔あふれる ロマンに満ちた石川の湘南 内灘町

内灘町が誇る日本海・内灘海岸は多くの海水浴客やマリンスポーツ客でにぎわう内灘の顔であり、日本海に沈む美しい夕日や、砂丘の風紋、海岸を活用したイベントなど魅力あふれる「海」で訪れる人を楽しませます。

また、内灘町は栗崎遊園・内灘闘争などの歴史や小説の舞台となったロマンがある他、日本海や河北潟などの豊かな自然、「恋人の聖地」サンセットブリッジ内灘などロマンあふれる観光資源を有しており、これらを活かして「ロマンに満ちた町」を目指します。

その他、内灘町と同じく豊かな海岸をもつ神奈川県の湘南エリアはマリンスポーツが盛んであり、都心からの海水浴客で大いににぎわっています。海の魅力から移り住む人も多いことでも有名です。また、湘南エリアのある藤沢市は2014年に学研パブリッシングから発表された「主婦が幸せに暮らせる街ランキング」で1位に選ばれるなど「住みやすさ」という魅力もあわせもっています。この湘南をイメージし、石川の湘南として全国的な知名度の更なる向上や交流人口の拡大、町の活性化を目指します。

内灘海岸をはじめとした観光資源の更なる磨き上げにより、町民が今以上に内灘町に誇りをもち、観光客・町民ともに笑顔あふれるロマンに満ちた内灘町になることを目指すこととしコンセプトをまとめました。

2. 観光ビジョン実現のための基本方針

観光ビジョン実現に向けて以下の3つの柱を基本方針として具体的な施策に取り組むこととします。

1 ロマンあふれる内灘町の魅力を更に高め、多くの笑顔をはぐくみます

内灘町が誇る海や自然の他、「恋人の聖地」、特色のあるイベント、特産品、内灘町に秘められた文化・歴史的な側面まで奥深い魅力を満喫できる内灘町を目指し、観光拠点の整備を行うなど内灘町の魅力をさらに高めます。

2 内灘町の魅力やロマンを多くの人に伝えます

海が輝く町、ロマンあふれる町、北陸の湘南など内灘町のブランドイメージを磨き上げながら、その魅力を国内外の多くの人に発信します。

3 観光客をあたたかくもてなし迎えます

内灘町で過ごすひとりが素晴らしい時間になるように、観光客をあたたかく迎え入れる受け入れ体制を強化します。

内灘町観光ビジョン 4章抜粋

2. 観光拠点における重点施策

内灘観光の魅力を高めるために5つの観光拠点を設定し、それぞれについての重点施策を検討します。

1-1-1	海岸拠点
【位置】	
【施策】	
<p>■内灘海岸賑わい創出道路整備</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・内灘海岸へのアクセス性を高めてにぎわいを創出するために下図のように、のと里山海道の起点である幹11号内灘海浜線～河北潟放水路にかけて新規の道路を整備することを検討します。 ・現在、内灘海岸へのアクセス道路は下図の幹3号向栗崎線のみですが、内灘海岸賑わい創出道路の整備により3本の道路から海岸へアクセス可能となるため、回遊性の向上・にぎわいの創出に加え、イベントなど混雑時の渋滞緩和が期待できます。 	
<p>■駐車場整備</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・内灘海岸賑わい創出道路整備にあわせて次の図のように駐車場を整備します。駐車スペースの確保により多くの訪問者が集まることを期待します。 	
<p>■物産店整備</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・内灘海岸への訪問者がお土産を購入できる物産店を整備します。内灘海岸に由来する商品や内灘町の特産品を販売し、にぎわいと観光収入の増加を図ります。 	
<p>■海を活かしたイベントの継続・創出</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「世界の風の祭典」など内灘海岸ならではのイベントを継続・支援します。 ・ビーチスポーツ大会、サーフィン大会など砂丘や海岸を活かした新規イベントについて検討します。 ・町民の生活と海とのかかわりを深めるための写真コンテストや子どもを対象にしたイベント、海に関するシンポジウムなどの企画を検討します。 	
<p>■海岸の美化</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・町会やボランティアの協力のもと、内灘海岸の清掃活動を実施し美化に努めます。また、清掃活動とウォーキングなどのイベントをタイアップさせることで楽しく清掃活動に取り組める企画を検討します。 	
<p>■風紋づくり</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・風紋や砂丘が形成される仕組みを学び、住民参加で風紋づくりや風紋の保護を行います。 	
<p>■安全な海岸利用の促進</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場や海岸利用のルールを周知し、安全な海岸利用を促進します。 	
<p>■希少な動植物の保護の促進</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・はまなすやシロチドリなど希少な動植物の植生や生息の現況を把握し、住民参加による保護のあり方を検討します。 	

